

バレンタイン 思い込め



「恋人の聖地」は
輝くキャンドル

遠野・めがね橋

「恋人の聖地」に認定されている遠野市宮守町のめがね橋で14日、バレンタイン・イベントがあった。キャンドルに照らされる中、50年間連れ添った夫婦や親子、友人たちが思い思いの告白をし、チョコ

コレートを贈っていた＝写真。

めがね橋を「想ヒ届ク橋」と売り出す市観光協会が、県内の大学などに「ここで思いを素直に伝えてみては」と呼びかけ、応じた7組が参加した。遠野市の及川いずみさん(23)は、14年間、友人として付き合っている鳥屋部優さん(23)に「これからもよろし

く」と照れながら渡していた。

フェアトレードの
チョコ「おいしい」

盛岡・アイーナ

チョコレートの「フェアトレード」について考えてもらおうというイベントが14日、盛岡市のアイーナで開かれた。

フェアトレードとは、発展途上国の生産者に、公正な対価を支払って取引すること。

国際問題に詳しい盛岡市立渋民中の野島浩司教諭は「アフリカで作られるカカオは、安価で先進国に買い取られ、生産者の生活は不安定。児童労働も多い」などと参加者らに解説した。

イベントでは、生産地からフェアトレードで取り寄せたカカオを使ったチョコレートなどを参加者らが試食。盛岡市のパート佐々木真理さん(51)は「いつも食べているものとは違う味。おいしい」。